

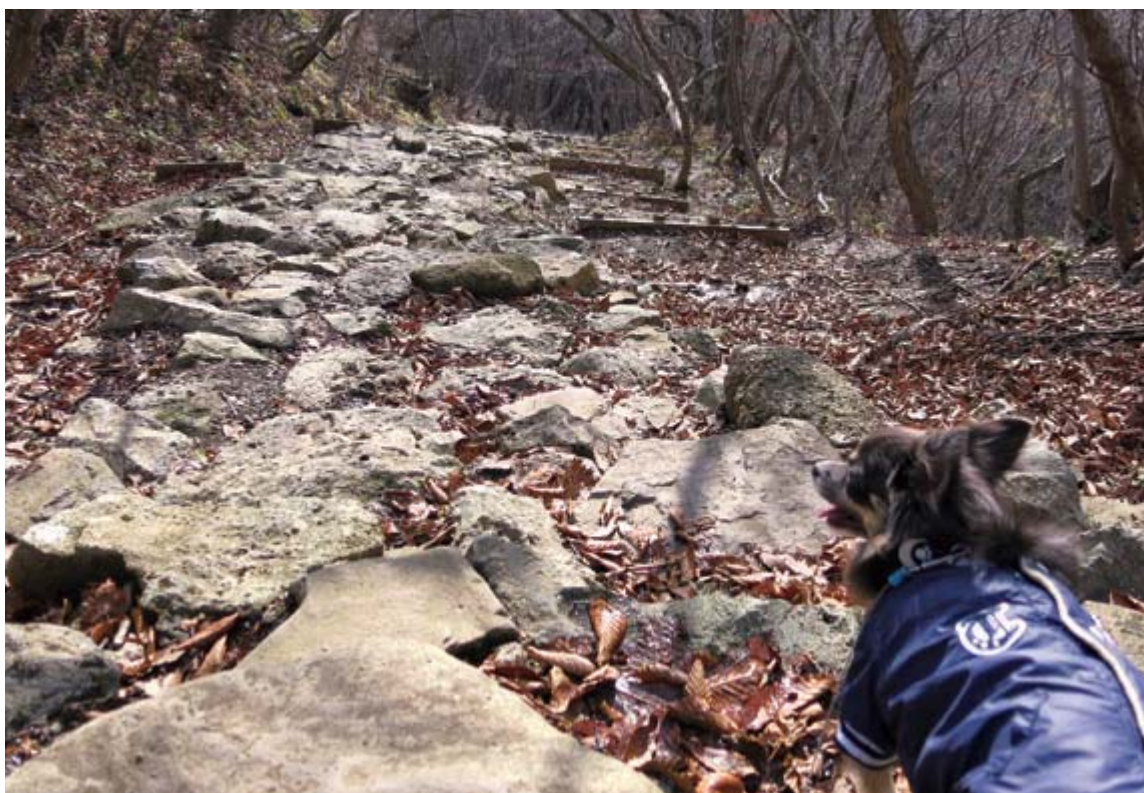
男鹿潟上南秋 医師会報

71号

平成25年12月25日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 秋田県潟上市天王字上江川47

☎ (018) 878-6028 FAX (018) 878-2517



目次

特集「お酒」	2	生涯教育講座	14
・ お酒と私 石澤暢浩	2	佐藤滋先生／眞鍋求先生／本田耕平先生	
・ 酒 笹尾 知	3	・ カレーはダメ！ 田村広美	17
・ 秋田の酒の旨さにつられて五城目へ 浅利正雄 ..	4	・ 「あけぼの」との思い出 秋元正年 ..	19
・ 「アルコール禁」男の独り言 櫻田 徹 ..	5	・ ピットフォール⑤ 加藤一磨	20
・ 酒飲みの言い訳 佐々木康雄	6	・ 今日の診察室から㉑ 高木道雄	21
・ 理事会	7	・ ナイトキャップ	22
・ 医師会忘年会	8	・ ふんふんコラム	23
・ 新人紹介	11	・ 編集後記	23
・ 湖東総合病院Now③ 中鉢明彦	13	・ 表紙説明	24

だれだ？



秋田の

酒飲みだ！

特集「お酒」

ということ、今号のテーマはお酒。百薬の長と謳われながら身を滅ぼす原因としては煙草のはるかに上を行く。かくて、酒に関わる警句ことわざ小説詩歌ダジャレは無数に存在し、要するに、過ぎたるはなお及ばざるが如しに尽きるようだ。では正月のお神酒の友にどうぞ！



お酒と私

藤原記念病院（潟上市）

石澤 暢 浩

私が初めてお酒に出会ったのは、小学校の2年生の頃でした。私が小学校の頃から不良だった訳ではありません。もともと体の弱い子でありましたので、風邪をひいて食欲がなくなるとす

ぐに瀕死の重症となるのです。その時、親から飲まれたのが、赤玉ハニーワインでした。何故か即効性があり、次の日にはピンピンしておりました。チョー安いワインではありませんが、

子供の口にはチョー合っておりまして。その後、味をしめたせいか、何度も風邪にかかったのは言うまでもありません。

本格的にお酒にのめり込んだのは、大学を卒業してからだと思います。大学生の頃は、勢いで飲んでいた観が否めません。とにかく、ヘロヘロになって、具合が悪くなるまで飲みまくるのがステータスであつたような気がします。アルコールが血中でアルデヒドになって、脳味噌を麻痺させ、バス停（の標識）を運んだり、イヌの置物を運んだり（盗んではおりません）したような気がします。

さて、お酒と一口に言ってもその種類は数えきれません。大きくは蒸留酒と発酵酒にわかれますが、発酵酒は翌日まで残るので、最近はおっぱら蒸留酒、とくに焼酎にはまっています。これまた多くの種類があり、私個人としては、芋焼酎にはまっています。私自体にクセがあるせいか、クセのある芋焼酎にひかれたようです。たかが焼酎と

思いきや、魔王や赤兎馬（せきとば）クラスになると5千円から1万円なんでもありません。

私の舌は10万円のワインと2千円のワインを区別できるほど味蕾（みらい）が発達しておらず、まして舌先でワインをころがしながらブルゴーニュ地方のブドウ畑を連想できるほど繊細な感性も持ち合わせておりません。せいぜい、芋焼酎を口に含んで、鹿児島（鹿児島）の芋畑を思い浮かべるのがやっとでございます。こういうと焼酎派には大変失礼になるかもしれませんが、焼酎は芋、麦、米、その他素材の香りがはつきりしていて、素材の種類が分かり易いという点で私には合っていると思っています。

大学を卒業してからは、一時日本酒にはまっていました。きっかけになったのは、市立秋田総合病院にいるころに、品の良い80代のおばあちゃんに刈穂の1升ビンをもたらってからのことです。当時はまだ刈穂の名前はブランドでなく、あまり一般に出回っていなかったと思います。

この一品は醸造元から仕入れたもので、得も言われぬ美味しさでした。そこから私の日本酒紀行が始まったわけであり、秋田の日本酒は全国でも味、種類ともトップレベルであります。

飛良泉、酔楽天、秀よし、まんさくの花、亀の穂、雪の茅舎など、ほとんどの秋田のお酒（飲み屋さん？）を渡り歩いてしました。しかし、何せ日本酒は発酵酒のため確実に翌日まで残り、さらにおそらくカロリーも高いと思われ、メタボ一直線の道をつっぱしって、今まで穿いていたズボンも穿けなくなり

ました。このままでは、人間がダメになると思い、思い切って日本酒の道を断念しました。結局、蒸留酒で翌日に残らない焼酎に進路変更したわけであり、皆様もお酒に飲まれず、お体を大切に！



▲湯上市の地酒、酒は天下の太平山を代表する一本。

酒



笹尾医院（五城目町）

笹尾 知

今回は酒について書けということだけど、私のような下戸にその資格があるのか甚だ疑問

だ。学生の頃はちよつと飲んで、もすぐ真っ赤になり、動悸がして気分が悪くなり吐いてしまう。

肝臓にアルコールを分解する酵素A D Hが少ない体質なのである。しかし酒は旨いものだと感じたので、飲んで吐き飲んで吐くことを繰り返しているうちに、かなり飲んでも平気になってしまった。これには五城目に帰って来たことが影響していると思う。

秋田県は高知県と並んでアルコールの消費量が多い土地柄である。以前はちよつとした集まり、例えば町役場のなんとか委員会などがあれば、終わったあとで必ず一杯やるのが慣例だった。

まだ勤務時間内なのではと思うような明るい時間帯から飲み始めることもあった。警察署では鴨撃ち解禁の監視があつたからとか県警の柔剣道大会があつたからとかで宴会をやるからと、嘱託医の私や小玉先生が招待されたこともあった。数えればきりが無いいろいろな場、医師会、ロータリークラブ、お宮やお寺の結婚式や葬式、同窓会やクラス会、町内会、銀行や信用金庫の集まりなど、よく真面目に出

席しては真面目に（？）飲んでた。

出席する前は、今日はあまり飲まないようにしようと思つていても、だんだん酔つてくると忘れてしまい、「先生、体を大事にして下さい」と言われながらお酌をされると、杯を空にしてご返杯ということになる。そのうちわけが分からなくなつて突進し、翌日は朝起きるとまだ顔が紅く気持ちが悪く、朝も昼も食事を抜いて夕方になつてもまだ酒の匂いもかぎたくないのに、どうしても出席しなければならぬ会合があつて、我慢して少しずつ飲んでいううち調子がよくなつてしまふこともあった。

終わりの方は全く記憶がなくなつてしまふこともあり、我ながら何か失敗したのではと怖くなることもあった。

さすがに80を超える年になると、そんなには飲めなくなる。すぐ足に來て歩行がおぼつかなくなる。私の父も叔父もずいぶん飲んだものだったけれども、70半ばでまったく飲まなくなつ

た。

私も今は晩酌をやめている。今も仕事を続けていなければならぬ状況では、その方が良いでしょう。別に我慢しているわけでもない。会合があれば結構飲んでいるので大丈夫です。昔の人はゆっくり酒を飲んだという。酒が醒めそうになった時、また一杯飲んで陶然となり、また醒めそうになった時また一杯飲むという具合で延々と長い時間楽しんだという。現代の人間は忙しすぎ、そんなに長い時間がないのだろう。慌てて飲み、慌てて酔っているように思われる。

秋の夜は静かに飲むべかりけり、という若山牧水の歌もある。



今、手もとに『世界の酒類事典』という本がある。どこからか送られて来たもので、なぜ

私のところに迷いこんだのか分からない。もしかしたら皆さんも持つておられるかもしれない。日本酒、ワイン、ウイスキー、ブランデーなどが掲載されている。日本酒で一番高価なのは柿

右衛門の四角な容器に入った1800mlの37万4500円。ワインはロマネコンティ96万円、ウイスキーはグレンフィディック50年物150万円などで、調べればもつと高くて値段のつけ



秋田の酒の旨さにつられて五城目へ

浅利整形外科医院（八郎潟町）

浅利 正雄

湖東病院に赴任する前、青森市の「あすなろ学園」という肢体不自由児施設に勤務していた。職員達と飲む会があると、駅前の魚市場近くの「玉寿司」に行くことが多く、そこでいつも「福祿寿」を飲んでいた。

弘前駅で列車の待ち時間があった時、駅前の「清酒 福祿寿」という看板の飲み屋に入った。酒を注文すると福祿寿の2級酒が出てきた。1級酒も下さいと

いうと、全国的に有名な1級酒が出てきた。

並べて飲んでみると、2級酒の方が問題にならない程うまかった。これが秋田の地酒の旨さかと感動したものであった。

学生時代、弘前の下宿している家の近所に「秋田山」を販売している秋元酒店という大きな店があった。その店員が3人、私の下宿屋（夫婦ともマージャン好き）にマージャンを楽しむ

られないものもあるに違いない。我々の口に入るはずはないけれど、どんな酔い心地になるのか、ちよつとだけ舐めてみたい気がする。

ために来ており、私もよく遊んだもので、下宿のおやは秋田山を飲み、私も時々ごちそうになっていた。

かくて2つの醸造元、福祿寿と秋田山が病院のすぐそばにあると聞いて湖東病院に来ることにした。赴任してから秋田山の社員とよく野球の試合をやり、その後の酒が楽しみであった。また医局のメンバーで秋田山の酒蔵見学も年1回やった。弘前から秋元酒店が仕入れに来た話を社長に聞き、懐かしかった思い出がある。

赴任前、弘前大学整形外科の東野修治教授に、湖東病院に新しい整形外科を開設するので思い切つてやれと激励されたが、

不安もあつて着任する前の日曜日に家族を連れて来たことがある。急な電話で、休日なのに能代市から堺事務次長が病院に来て案内してくれた。

翌日彼が病院に出勤すると、今度来る整形の医者は全然医者らしくないと言ったという。車を運転していたので酒は飲まなかったが、着任してまもなく、歓迎会でもないのに男子職員達と五城目町の「一蝶」へ酒を飲みに行った。

電気を消し、歌をうなり、ご機嫌で酔っ払い、タクシーで八郎潟の住宅まで送ってもらったのを昨日のこのように覚えてる。



▶五城目の福禄寿。一白水成、十五代彦兵衛、浦城も有名。

「アルコール禁」

男の独り言



男鹿みなと市民病院（男鹿市）

櫻田 徹

めでたいお酒の話を書く機会をいただいた。酒の好み、あての話など、書くことに暇はないはず。ところが、残念ながら、表題のようにお酒は呑めない身

体（？）であり、愉快でたくなるお話は他の方に譲ることにして、呑めない側からのお酒を綴ってみた。

10年ほど前に自分は「アルコ

ール禁」であることに気付いた。酒を呑んで赤くなる人は少なくなく、酒量も人並みにやや落ちる程度と思っていたので、強くはないが、普通の酒呑みだと50年ほど思い続けてきた。

採血の際、酒精綿で腕を擦られた部位が1時間ほど赤くなつたままであったことには気づいてはいたが、それほど採血の機会もないし、そのことは頭の片隅に捨てられたままであった。一応、最近はおケットにヘキシジン（通称、ヒビテン）綿を忍ばせてはいる。ところが、2002年「医療現場における手指衛生のためのガイドライン」が改定となり、手指衛生の第一選択が「擦式アルコール製剤」になった。この製剤を使ってみたところ、なるほど、酒精綿ほどではないが、ほんのりと腕が赤くなる。待てよ、術前の手洗いをどうしよう？ というわけで、手術時には流水による手洗いの後のアルコール仕上げをパスして今日に至っている。このような悩みは聞いたことがないが、

アルコールに弱いグループの手術感染症頻度が吞兵衛軍より高いというエビデンス（証拠）はあるのだろうか？

晩酌は当然したことがない。ある友人の奥さんは父親が酒呑みだったので、小皿の肴を何品も手際よく作る才能を育てた。「酒呑みは娘さんの料理の腕を上げる」は小生の金言であるが、岳父もそれほど呑めなかった我が家には当然当てはまらない。夕飯は即、ご飯に向かうのが習性であり、「夕食で、いきなりご飯に行くのか！」と同僚に驚かされたことが忘れられない。

だからといって、酒席は嫌いではないので、少ないアルコールで大いに騒いできた。付き合ってもそれほど悪くはなかったと思うが、どうであろう。割り勘に怒りを覚えたことは数知れないが。昨今「1時間半飲み放題」などが流行であるが、当然元は取れない。付き合う時には同額を請求されるので、腹が立つ。料理も数が分かりやすいように仕分けられているから、元

を取ろうとして食うと目立つから手におえない。

居酒屋で、

「俺の家はこの道の最初の角を曲がって、左から3軒目の家だ」「あれ、おかしいね。俺の家も角を曲がって、左から3軒目だぜ」と2人が呑み合い揉めている。これを聞いていた隣の男が首を傾げていると、主人が「いいんだよ。間違いないよ、親子だから」これは落語のまぐら。寄席を取り（終演）まで聞き、蕎麦屋に寄って、厚焼き玉子と板山葵で、そば前に2合ほどい

ただき、せいろうを2枚ほど手繰って、下駄を鳴らしながら家に帰る、そんな酒呑みを夢みる。



私、呑めばこうなります

酒飲みの言い訳

ハートインクリニク（潟上市）

佐々木 康雄

昭和63年に角館の病院に赴任した際、杉山病院で学んだアル中治療を角館でもやってみようと考えた。その1つが断酒に向

け根性を鍛える行軍である。ある日、患者と職員8名で田沢湖1周20kmに挑戦した。歩き始めて間もなく小さな集落にさ

しかかったら道端で畑仕事をしていたばあさんが我々をじろじろ見つめる。と、次の刹那、「おめ、なにしてる。酒飲みのバカ娘が！」。仰天した我々に「バカ娘」は小声で、母親ですという。そこは彼女の実家だった。

角館は玉川と桧木内川、国道46号と105号、JR田沢湖線と秋田内陸線が交わる交通の要衝である。患者が蒸発すると捜索ポイントが多い。その確認を兼ね周辺15kmほどを行軍したこともある。歩き疲れて病棟に戻った患者たちが口論を始めた。1人は途中で酒店が5軒あったと言い、もう1人は6軒と主張して譲らない。職員は誰も正確な数を知らなかった。関心の度合いが違うのだ。アル中行軍の特徴は行列がすぐ乱れることで、協調性がないというか、決まり事を守れないというか。

他に妙手はないかと反省会で飲んでいて、ひらめいた。断酒が難しいのは、酒を勧められた時うまく断れないのも原因ではないか。自分だって酒を覚えて

この方それで苦労している。さっそう取り掛かった。

飲まざるを得ない場面をいくつか想定し、「その時あなたはどいうする？」という質問票を作る。例えば、隣の爺さんの葬儀で、弔いに一杯やってくれと喪主に勧められたらどうするか。結婚式に呼ばれ、今日はめでたい日だからと新郎の母親に勧められたら…などといった内容に回答してもらおうのである。

何かの悪ふざけかと傍観していた上司が、せっかくだから学会に出しなさいという。仙台の東北精神医学会で発表した。まじめな演題が続くシーンとしていた会場に笑いが広がる。終わると挙手する先生がいた。そんなことをやっていると反復強迫でかえって酒飲みの言い訳がうまくなるだけではないか…。

平成2年春、角館から大曲の病院に転勤することになった。断酒会が桧木内川河川敷で送別会をやるという。調理師も寿司屋もいて、ゴザの上には豪華な料理が並ぶ。「花に嵐のたとえも



あるぞ、サヨナラだけが人生だ。先生、今日は五月晴れ、桜も満開、ないのは酒だけ。アハハ」彼らの本心に胸が痛んだ。

某テニス倶楽部の社長は楽器の稽古やテニスで汗を流すと、「ああ、今夜も酒がうまいな。酒なくて何の己が桜かな」と毎度ご機嫌である。「酒飲むは時間のムダ、飲まぬは人生のムダというが、酒離れが進む最近の若者は人生離れもしているな」

最近、日本酒は高額イメージというので呑友が好む秋田清酒やまとしずく  通称ヘト点で計算してみた。1升瓶1800ml純米吟醸2500円。これ



五城目の居酒屋「鍋駒」▶
1合から全国各地の
銘酒が飲める



をワイン1本750mlに換算すると千円。この価格帯のワインは味が不安定だ。料理用みりんは同換算で1200円、ヘアトニック6千円、アル中最後の一线、リキッド（酒類がない時、みりんやトニックまではOKだがリキッドに手を出したら最後と彼らという）は5500円。造る手間を考えると清酒は随分お得である。

理事會

（H25年9月26日）
天王温泉くらら

八郎潟ハイツの廃業に伴い急きょくららで理事会。ハイツはハードが古く修理代も維持費も半端ではないという。それにしても困ったとハイツ近場の会員のぼやきで会議は始まった。

今年の新型インフルエンザ対策は、発熱外来を病院から遠い公民館などに設置しても不便という昨年までの反省から、病院敷地内に設けることになった。

医療と福祉を考える集いは八郎潟町の児玉光先生、忘年会幹事は杉山病院の渡辺浩院長が担当と決定。これまでハイツを会場にしていた生涯教育講座は当分、

土崎のホテル大和とするが、大久保のブルーメッセの可能性も探ることになった。





医師会忘年会

11月29日

ホテルメトロポリタン秋田

神田 仁会長

医師会の名称が変わって早々の正月に若い先生に不幸があり、今年はどうなることかと心配したが、幸いその後はみんな元気で、大きな病気もトラブルもなく、会長として安堵している。先を考えると頭の痛いことばかりだが、今日はみんな忘れてゆっくり食べて飲みましょう。



神田会長

笹尾 知（乾杯）

今日が今年最初の忘年会。「年を忘れる」のは80歳になった私には簡単で、五城目町長の選挙はいっただけと日記を見たら昨年ではなく今年2月でびつくり。後援会長がこれじゃ…。医師なのに薬や病名を忘れてしま

うような有様だし、ま、来年もどうぞ宜しく。

田村 広美

この忘年会は5年ぶり。1年半かけて5キロ減らしたが、あいつは過去に何度も減量して、その度に倍返しだという人もいる。ズボンは105cmから82cmまで念のために残してきたが、今回は太めの服を全部処分したので、たぶん大丈夫。

編集長

田村ダイエットはゴム紐か、伸びたり縮んだり、ということ。で今年は会報も記念すべき70号を発行できた。せめて80号は新



笹尾

河合 徹

しい編集長で…（先生から編集の仕事を取ったら老け込むだけですよー）とにかく原稿を下さった先生方に感謝。71号はこの忘年会記事も含め脱稿寸前です。書き直しは面倒なので今夜は記事の内容に沿って会を進めて頂きたい。発言内容は決して掲載しません。ご安心を。



急性アル中で青鬼にならぬよう…

男鹿みなと病院の研修医として東大病院から11月1日に期間3カ月間で赴任した。この16日に29歳になった。主に救急外来を担当し、当直明けでも救急外来をやって皆様にはとても可愛がって貰っている。男鹿市ホームページでなまはげ伝道師検定



坪井、白山

を知り勉強してきた。12月10日が発表。大晦日になまはげをやって帰れと下間院長に言われたので、やります。引退した父は母校の台湾大医学部で教えたり、妹の勉強を見たり、講演を頼まれたりしています。

坪井 純

忘年会は会長と同じくらい真面目に参加してきたが、去年は欠席し2年ぶり。この1年間なにをやったかというと、まあ、心臓もちゃんと動いて年が1つ増え63歳に。以上。

白山 公幸

昨年は血管が破れたドクターが出現して大変だったが、今年はそういう事故もなく、管理者としてほっとしている。河合先生がなまはげをやると言っているが、酒も強くないのに大丈夫かなと心配。昔うちの病院になまはげをやった高校生が急性アルコール中毒で運び込まれたことがあった。気をつけて下さい。来年は湖東病院も新築竣工するので地域医療も少し変わるかなと楽しみです。

千葉 祐一

医師会活動では生涯教育しかやっていないが、脳卒中から疥



千葉

癪まで多彩な内容だった。ご不満ご要望があればいつでも対応する。来年も宜しく。



佐々木、河合、秋元

秋元 正年

自治医大で2年間研修し、この春からまたみなと病院にお世話になっている。会報70号にも書いたが、今年は鎌田先生の不幸があり、来年はもう少し楽しい年になればと思う。

大窪天三幸

胃と大腸の内視鏡が開業以来800例を超えた。胃がん、大

腸がんを結構みつけたので地域医療にはそれなりに貢献していると自負している。6年前に4カ月間、今年も2カ月ほど上小阿仁診療所に応援に行った。無医村にならないよう何とか埋めてきたが、今の診療所の先生は73歳。笹尾先生だって80歳で警察医としてがんばっていらっしゃる。そうしたご高齢の先生方の努力のお陰で若い先生たちも好きな病院で臨床研修が出来ているのだが、今の医療制度には矛盾を感じる。もっと異議申し立てをして行きたい。



大窪



藤原

藤原 慶正

医師になって今年で20年、藤原記念病院に戻って10年。この間、何をしてきたのか、何をしていたのか、整理してみたいと思っている。やらねばならないことが多く、11年目から何に取り組むか色々考えていきたい。

浅利 正雄

医者はもうかつているなどと言われて、日本医師会は何か反論したか。あれじゃただの××団体だ：（酔った千葉先生のかい声と、それより酔っ払っていた浅利先生の発言内容は聞き取れず）。

長谷川幸弘

今年は漁に出ても魚がいなくて、それが一番残念だった。来年は医業だけでなく、船を整備して漁業もがんばりたい。釣れないのは腕のせいじゃなくて地球温暖化が原因です。



長谷川

佐々木範明（司会）

昨年は親父の不幸で欠席した。今までは院長だったが今年は理事長にもなった。医業経営も大変と嘆いていた親父の言葉通りと思っている。田村先生はがんばって痩せたと言うが私はがんばらなくても痩せている。自分の体だけではないと思い、先日、保険の見直しを試みた。煙草は吸わないし健診も問題ないので



範明、渡辺

渡辺 浩

安く済むと思ったら、BMIが17・8と低すぎて引つ掛かった。学生時代はハンドボールで鍛えた筋肉で体重があった。今年はBMI18以上をめざし運動を始めた。

私も年を取ったので院長をやつてよと和先生に言われて院長になった。そしたら権限は何もなく責任ばかり。雇われ院長とはこんなにつらいものかとしみじみ思っている。先日、県医師会から勤続25年の表彰を受けた。小玉先生など皆さん色々功労のある方ばかりで、単なる年数だけの私は壇上で肩身の狭い

思いをしてきた。息子もこの医師会に入った。今日は出席するようにと言ったら、人付き合っても酒も嫌いだから出ないよといわれた。



弘之、神田

小玉 弘之

県医師会の会議と重なることが多くてこの理事会はなかなか出席できず申し訳ない。由緒ある医師会なのに男鹿・潟上・南秋医師会となかなか言えず、つい男鹿南秋と言ってしまう。県医理事をやつて8年目、坪井先生と一緒にがんばっていた。最近シヨックなのは神田会長が煙草をやめたことで、煙草仲間が減って残念。来年は僕もやめたいと思う。

新 人 紹 介

コーナ―



小玉医院（潟上市）
宮田 美生

当医師会入会に当たり、自己紹介をさせていただきます。

秋田県には縁もゆかりもなかったのですが、6年前、神経病理医である主人の転勤に伴い、鳥取県から秋田県に移住してきました。お米とお酒がおいしい、自然が豊か、小学生の学力は全国1位という楽しみが半分、今まで培った鳥取での公私における人間関係を離れる不安が半分でした。まだ小学生だった2人の子供も同

じ心境で新しい生活を始めたと思っています。

私は生まれも育ちも大阪です。鳥取大学医学部に進学、卒後は同大学脳神経内科学教室に入局し、大学院で神経病理学を専攻しました。現在は臨床の現場で神経内科専門医、内科認定医として診療に当たっています。

脳血管障害発症率が最も高いという秋田に来て、最初の約3年間は秋田県立脳血管研究センターに勤務し、主に脳血管障害の回復期リハビリテーションに従事しました。ここでリスクファクターの管理がいかに重要であるかを勉強しました。

本年4月から小玉医院と正和会五十嵐記念病院で常勤医として勤務を始めました。一方、今年で3年目になりますが、週1回は秋田赤十字病院神経内科の

定期外来で幅広い神経疾患の診療に従事し、専門医としてのスキルを維持しながら地域医療にも役立っていると考えています。

高齢者の増加に伴い、認知症やパーキンソン病など神経疾患の患者さんが増え、神経内科の果たす役割はますます大きくなってきています。また比較若い方の頭痛も重要な治療対象です。質の高い診療を維持できるように、日々研鑽しています。今後ともよろしく願います。



市民病院（東部）
河合 徹

福建の子、男鹿に至る

はじめまして。東大医学部附属病院の研修医として、男鹿みなど市民病院で11月1日からお世話になっている河合徹です。

今回は男鹿潟上南秋医師会報編集長である佐々木康雄先生のご厚意で寄稿させて頂きました。

さっそく話は変わりますが、私は自分の出身地を一言でいえたことがあります。誰しも聞いたことのない秘境から来たわけではないのですが、いつも説明を聞き終えた相手の顔を伺うと、結果的にはそのような印象を与えているように思えます。せっかくなので、面接や飲み会で繰り返し答え続けた内容をここに記してみます。

私の両親とともに台湾出身で、私の生まれも日本ではなく、沖縄県石垣島と同じくらいの緯度にある台湾台北市です。普通ならば、彼はこれから台北で立派に育っていくのだと思うでしょうが、父親の仕事の関係で1歳の時あっさり東京に連れて行かれました。そ

うであれば、なるほど、彼はこれから東京でスクスクと成長するのだと一般的には考えそうですが、これまた家族の都合で4歳の時バンクーバーを目指し太平洋を渡ってしまいました。その後、小学校高学年で東京に戻り、高校卒業まで過ごしました。親元を離れたい一心で、大学は勢い余って台湾まで里帰りし、台湾大学で学生時代を過ごしま



▲台北帝国大学時代の
本部キャンパス

▲台湾大学医学院附設医院外来棟
(旧台北帝国大学医学部附属医院)

した。そして医学部7年のインターンシップの時、日本の方が興味ある分野の研究が進んでいることを知り、卒後再度東京に舞い戻り、東大病院で研修医として働き出したのが2012年4月です。

いろんな方にこのような説明をしてきたのですが、反応は人それぞれでも興味深いものでした。印象に残ったものをいくつか挙げますと、「日本へようこそ!」と笑顔で言ってくれる方、「訛りがないけど、どこで日本語習ったの?」と怪訝な顔をする方、特に記憶に残っているのが「箸は使えるの?」と真剣に気遣ってくれた方でした。

珍発言の数々はさておき、このような経緯を辿った私の人生は確かにアイデンティティの掴みづらさがありました。ただ幸いだったのは、台北・東京・バンクーバーと行く先々でお世話になった方々や友人たちが、先入観なく、私の実際の行動や発言を元に付き合ってくれたことです。その影響もあって私も自

然と決めつけをしない人付き合いを心がけるようになり、今のところ、このモットーが私を裏切ったことはありません。やはりどこの人であろうと、魅力のある方は魅力があるのです。

それは男鹿みなと市民病院の下間院長や常勤の先生方にも共通しています。医師として未熟な私を、時には優しく指導し、時には叱咤激励してくれます。多忙な業務の合間でのご指導なので、感謝してもしきれません。今後もそれに見合うような努力を続けたいと思っています。

最後に台湾について少し紹介します。台湾には古くから台湾原住民が居住していました。1620年代にオランダ東インド会社によるオランダ人入植が始まり、初めて組織化された統治機構が出来ました。1661年に明朝の遺臣である鄭成功(実は母親が日本人で平戸生まれ)がオランダ人を追放し、台湾を反清復明の拠点としました。しかし最後には破れ、清朝の領土となります。清朝になってか



▲台北帝国大学時代の
医学部の表札



▲台湾大学本部文學院

ら福建省・広東省出身の漢民族移民が増え、開発も進みますが、日清戦争で清朝が破れ、台湾は1895年の下関条約により以降50年間、日本の植民地となります。

この間に行われた鉄道・農林水産業・公衆衛生などのインフラ整備が台湾近代化の基礎となり、その一環として私の母校の前身である台北帝国大学が設立されました。

戦後、台湾は中国国民党政府に接収され、民主化までの道のりは険しかったものの、現在では民主政権による統治がされています。地理的な要因で数々の波風に曝されたこの島も、今で

はショーロンポーと電子産業を売りに、アジア興隆の一端を担っています。私の祖父の家に、我々の先祖が300年ほど前に福建省から台湾に渡ったとの記録が残っています。主に米やサトウキビを

作っていたようですが、そのご先祖様も、まさか自分の子孫が男鹿の雪降る海を見ながら自分のことについて書いているとは想像もできなかったと思います。福建の子、300年経って遂に男鹿へ至る、というわけです。

長文となってしまいましたが、2014年1月末まで男鹿でお世話になりますので、皆様、どうか宜しくお願い致します。なまはげ伝導師検定、12月10日に合格しました！



ルーム、そして4階の窓から見える新病院（まだ鉄骨を組み上げた段階でしたが）を見つめる来院者の楽しそうな話し声、笑顔…。案内しているスタッフからは嬉しい悲鳴が上がっていました。地域の皆様の新病院に対する期待の大きさが肌で感じられた貴重な一日でした。

昨年8月、猛暑の最中に地元3町1村を行脚した説明会は、余りの暑さのためか参加者数は今ひとつでした。新病院開院を半年後に控えた11月、満を持して2回目の説明会・意見交換会を企画しました。話題の中心は、これまでも真っ先に取り上げられてきた「救急医療」です。

高齢者救急にみられる2つの

パターン、「病状の変化」（徐々に症状が悪化する）と「急変」（突然発症する）の違いについて理解してもらう手がかりとして2つの事例を提示しました。そして高齢者救急の多くは「病状の変化」なので、具合が悪いと感じたら我慢しないで早めに受診して貰えれば救急についても湖東病院は十分に対応できます！ そんな力強い（？）メッセージを発信しました。20時近くまで続いた大潟村での意見交換会は、参加者との間で地域医療についての思いを共有できた嬉しいひと時でした。

新病院は間もなく足場やシートが外れ全貌を仰ぎ見ることができるようになります。建物が

目の前に開けてくれば、より身近に新病院を実感していただけるでしょう。新病院建設の順調な進行に歩調を合わせ、入院診療の再開に向けた準備作業も本格化してきています。



例年、冬にハタハタの大群が押し寄せる男鹿の海

『最近の腎移植』



秋田大学医学部 腎置換医療学講座

教授 佐藤 滋 先生

日時 ▼平成25年8月22日

場所 ▼八郎潟ハイッ

腎代替療法には透析と移植があり、透析には血液透析と腹膜透析が、移植には生体腎移植と献腎移植がある。生体腎移植には血縁間腎移植（親子、兄弟、祖父母など）と非血縁間腎移植（配偶者等）があり、献腎移植には脳死腎移植と心臓死腎移植がある。

日本の腎移植数は右肩上がりになっていて、昨年、1500例を超えた。それを押し上げているのは生体腎移植が増えていたためで、その理由のひとつは、通常、輸血が来ないABO血液型不適合の間でも移植が出来るようになったことであり、夫婦間を含めた非血縁者間の移植、60才以上の生体腎移植のレシピエント数、70才以上のドナーの割合も増加してきている。

秋田大学の腎移植はどうかというと、1974～1997年の秋田県移植者の移植施設は秋田大学が11例（10・2%）、県外施設が97例（89・4%）だった。私が1998年から秋田大学で腎移植を開始した最初の4年は年間10例弱だったが、2002年からは年間ほぼ20例の移植を行っている。秋田大腎移植患者の居住地をみると260例の

83%は秋田県である。2002年以降は不適合腎移植や抗HLA抗体陽性の腎移植も実施している。生体のドナーは1998年以降、約半数が親子間だが、2007年以降をみると約半数が夫婦間となっている。60才以上のレシピエントも増えていて、60才を超えた夫婦間の移植が一番多くなっている印象がある。

ドナー腎採取術で重要なことは、何よりも安全であり、さらに採取した腎が移植後きちんと機能することである。さらに出来れば低侵襲であり整容的であればなお良い。秋田大学の術式は1998年から開放式で行っていたが、種々の術式を経て、2011年からはpure LESS腹腔鏡アプローチを施行している。LESSはLaparo-Endoscopic Single Siteの略で、傷が1個だけである。術後の創部も開放式の20cmから徐々に小さくなり、単孔式では5cmまでに小さくなっている。移植は骨盤内に移植する。腎臓の場合は、大人の腎臓を子供のおなかの中に入れるこ

と出来る。

秋田大学の免疫抑制療法（2001年～2004年、ABO適合・不一致および抗HLA抗体陰性移植）は3剤を使用していた。2009年からは4剤を使用している。今は免疫抑制剤が極めてよく効いているため、教科書に書いているような典型的な拒絶反応は見ることがなくなった。

透析が長ければ長いほど移植後の成績が悪くなるため、遅くとも半年までに移植することが大事であることが分かった。先行の腎移植の利点は、動脈硬化が少ないので移植後の心血管疾患の発生が少なく、良好な移植腎の血流が担保されること、廃用性膀胱萎縮がないため早期に留置カテーテルを抜去することが出来ること、透析のための内シャントを作成する必要がないのでコスメティックに美しく、心負荷の軽減にもなることである。問題点としては、わが国では先行的な献腎移植が普及していないため生体腎ドナーが必要不可欠であること、先行的腎移

植が優先されるため透析施行中の移植希望患者の手術待機時間が延長することなどがある。

移植腎機能廃絶の原因としては、移植した腎臓は働いているが他の病気で亡くなった人が約半分で、慢性腎拒絶は30%くらい、きわめてはつきりした拒絶は5%程度である。ほとんど生着生存率が良くなってきたいて、心血管系疾患や癌の発生の予防が大事になってきている。



県立小泉潟公園 水心苑

『老人に多い皮膚病―特に褥瘡・疥癬・皮膚癌痒症について』

秋田大学医学部 皮膚科・形成外科

教授 眞鍋 求 先生



日時 ▼平成25年9月19日
場所 ▼ホテル大和

を充填する。白色期には創の周囲から上皮化が進む。

治療に難渋するのは、アルブミン値が3・0 g/dl以下、糖尿病、悪液質の場合だが、その場合は完治を目標とせず感染制御だけを目標とする。

疥癬は、疥癬虫（ヒゼンダニ）が皮膚の角層内に寄生することから起こる。雌は1日に2、3個の割合で卵を産み、4～6週生きる。卵は3～4日で孵化し、2週間で成虫となる。感染して2週間から約1か月の潜伏期間の後に発症する。乾燥に弱く、皮膚から離れると2～3時間しか生存出来ない。

腋窩から側胸部にかけて掻破痕を伴う紅色丘疹が汎発している場合は疥癬が強く疑われる。陰部、臀部にも紅色丘疹が出て、陰嚢部に褐色結節が群生し、指間に細長い角質の隆起（疥癬トンネル）を認めたらその時点で疥癬と診断して良い。夜間に就寝してから痒みが強くなり、同居者にも類似した病変が生じる。感染経路は、人の肌から肌へ

褥瘡は、圧迫だけでなく引張りやズレも合わさった応力が、2時間以上継続し、皮膚組織の壊死が生じること起こる。自力で体位変換が出来ない・骨が突出したり関節が拘縮したりしている・介護力不足による圧迫の継続と栄養不良・湿潤の開創・ズレや摩擦による組織の脆弱化が合わさって褥瘡が発生する。

組織学的所見による分類では、Ⅰ度は表皮だけの病変で赤くなるだけ、Ⅱ度は真皮に達する病変で水疱やびらんを生じる、Ⅲ度は皮下脂肪まで達する病変、Ⅳ度は筋肉や骨まで達する病変である。臨床所見による分類で

は、黒色期（壊死組織）、黄色期（皮下脂肪）、赤色期（肉芽形成）を経て白色期（瘢痕）へと治療に向かう。

治療で一番大事なのは除圧、次に栄養管理で、その後に壊死組織の切除や被覆剤・抗菌剤・肉芽形成促進剤の使用がある。

浅い褥瘡の場合、洗浄し被覆剤を使用するだけで十分である。深い潰瘍の場合、まず黒色壊死組織を軟化させ除去する。感染制御が必要な褥瘡には、殺菌性外用薬を使用し、抗菌薬の全身と薬をする。感染制御が不要になったら水道水で洗浄し、肉芽形成促進剤を使用する。赤色期には肉芽組織が増生し欠損部分

の直接接触によるものと寝具や衣類を介しての間接感染がある。

内服療法としてはイベルメクチンがあり、本症の第一選択薬である。疥癬虫の虫卵は本剤に感受性がないので、1週間後（海外の治療指針では2週間後）に再与薬することが望ましい。

防疫対策については日本皮膚科学会誌117:1-13(2007)の疥癬診療ガイドライン（第2版）に書かれてあるが、特に表4（疥

癬予防のポイント）、表5（疥癬の教育に当たっての留意点）を参照されたい。

皮膚痒痒症は掻破痕以外の肉眼的変化を欠き、強い痒みを訴える反応性疾患である。外陰部などの限局した部位に痒みを生じる限局性皮膚痒痒症と全身の皮膚が痒くなる汎発性皮膚痒痒症に大別される。汎発性皮膚痒痒症の原因として最も多いのは老人性乾皮症である。

皮脂欠乏性皮膚炎は角質の保湿機能の低下による乾燥状態を誘因とする湿疹反応である。主に高齢者の大腿から下腿伸側、側腹から腰背部、肩などの皮膚が乾燥し、表面には枇糠様鱗屑が付着する。

皮膚痒痒症には抗ヒスタミン薬の内服が第一選択である。乾皮症を伴う場合は保湿薬を併用する。湿疹化した場合はステロイド軟膏を併用する。

『鼻・副鼻腔疾患の診断と治療』



秋田大学 大学院医学系研究科
機能展開医学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

准教授 本田 耕平 先生

日時 ▼平成25年10月17日
場所 ▼ホテル大和

アレルギー性鼻炎は、通年性アレルギー性鼻炎と季節性の花粉症に分かれている。発作性反復性のくしゃみ・水性鼻漏・鼻閉が症状の3主徴である。花粉

症では、2月から4月はスギ、5月から7月はイネ科の花粉、特に田んぼの多い地区ではハルガヤとカモガヤ、8月から10月は雑草の花粉でブタクサやヨモ

ギが原因となる。

診断は、季節性であればその季節に目の症状も合わせて、くしゃみ・鼻水・鼻づまりがあるかどうかという病歴聴取と鼻内の診察、レントゲン、そして風邪との鑑別に非常に診断の助けになるのが鼻汁の好酸球検査である。皮膚反応または血液検査で特異的IgE測定（RAST検査でクラス2以上あれば陽性と判断）も非常に重要になる。誘発テストも本来ならば診断方法の1つになるが、ほとんどやられてい

ないのが現状である。

アレルギー患者の鼻内所見は、粘膜が浮腫状で水性の鼻漏（水っぱな）が出ていて、典型的な例ではむしろ蒼白な粘膜となっている。鼻汁を採ってエオジノステインで染色して顕鏡して好酸球が存在するかどうかで簡単に診断することが出来る。

小児アレルギー性鼻炎の有病率が非常に上がってきている。特にスギ花粉症の有病率が上がっている。スギ花粉症の有病率には非常に地域差があり、長野県や山梨県、関東では有病率が高い。一方、秋田県は杉の人工林は一番多いが、スギ花粉症は全国平均より少ない。

治療は、第2世代の抗ヒスタミン薬が、軽症・中等症・重症の治療のベースになるが、それに鼻噴霧用のステロイド薬を併せて使っていく。鼻閉型には口イコトリエン拮抗薬、抗プロスタグランジンD2薬などを併用する。初期療法に関しても同様の薬剤を使用する。鼻閉型で鼻腔形態異常を伴う症例では手術

が推奨されているし、アレルゲンの免疫療法も推奨されている。

最近大学では、免疫療法で維持量まで持っていくのに3か月かかることを3日間で維持量に達するラツシユ法という方法を行っている。手術治療とラツシユ法による免疫療法を組み合わせて、高度な鼻閉型の人や薬物治療が嫌な人に対し、入院中に施行している。

慢性副鼻腔炎の治療では、マクロライド療法というのが日本では広く行われている。ただし、大きな鼻茸がある場合や喘息のある場合は治りにくい。鼻茸に対しては内視鏡手術を施行している。

副鼻腔嚢胞は、粘膜の慢性炎症、外傷、瘢痕で固有鼻腔への交通路が閉塞されて生ずる。上顎洞根本術後数十年で頬部が腫れた場合、こうした疾患も考えなければならぬ。

副鼻腔の真菌症も非常に重要で、浸潤性と非浸潤性に分類される。浸潤型は免疫力が低下した者に多い。アスペルギルス、

ムコールが起因菌として多い。眼球突出、眼筋麻痺、視力障害が起きやすい。脳に行くと死亡するケースもある。治療は、すぐに蝶形洞を開けて真菌塊を取り除く手術をする。

副鼻腔の腫瘍である上顎癌は、扁平上皮癌が90%で、ほかに腺癌、腺様嚢胞癌などがある。症状としては一側の血性鼻漏、鼻閉、頬部腫脹、眼球突出と変位があり、診断はX線、CT検査で不規則な骨破壊像を認めるほか、鼻内生検、開洞生検で診断する。治療としては術前照射、浅側頭動脈動注化学療法、上顎全摘・拡大全摘術（眼摘）の三者併用療法を行う。5年生存率は60%前後である。



記事担当 吉田賢志



カレーはダメ！

たむら船越クリニック（男鹿市）

田村 広美



何度も話題にしているダイエットネタだけど、昨年夏から人生54回目（？）を始め、「すごい太っちゃ」から「普通の太っちゃ」を経て「少し太めのおじさん」まで来た（まだ標準体重ままで10キロもあるんだが…）。

付き合いの長い人は僕が何度痩せて何度もリバウンドしているのを知っている。この間も昔からきている子供のお母さんに「先生、前にも痩せてたことあったよね」とあっさり言われた。痩せた回数だけリバウンドしていることになる。

今回も盆正月の休みについて食べて飲んで後悔し数カ月かけてやっと減らした。それどころか週末毎にプチリバウンドで、月曜日からまた少しずつ元に戻すことの繰り返しだ。それでも何

とか現状をキープできているのは、「すごい太っちゃ」時代の服を処分したからかもしれない。以前のダイエットでは、「もしもの時」に備え服は全部残していた。だから僕はウエスト85から100cmまで様々なズボンを持っていた。今回はスーツを残し全部親戚にあげてしまった。

初めてスーツを着たのは高校の卒業式で、サイズはYー5（Y体というのは痩せ型サイズ）。成人式も同じスーツ。大学4年生の時に東日本医科学学生総合体育大会の評議員会、理事会議長をやった時に女房は初めて僕のスーツ姿を見たのだが、このスーッだった。6年生になる頃から太り始め、これは着られなくなった。研修医はスーツなんて必要なく、学会発表も吊るしの

ジャケットで済ませていた。

29歳の時、女房をもらいに行くことになって何を思ったかメンズセンターでグレーのスーツを買った。当時流行りのソフトスーツ。あとでタグを見たらデイオールで、何度か着たが、少しずつ太っていつの間にかボタンがきつくなっていた。

結婚してからもスーツは必要なかった。41歳の開業前にスーツを2着買った。無難なダークグレーと紺の2色。あいさつ回り、各種会合など結構着たが、また太っていつの間にかあんまり着なくなっていた。

そして5年前、痩せてみようと思い立ち、「今年は痩せるぞ。忘年会にはイタリアンスーツだ」と女房とスタッフに宣言し47回目のダイエットを開始。見事17kgの減量に成功、暮れに女房と西武デパートへ。イタリアのブランドではなかったが、黒のピンストライプのラルフローレンを買って、忘年会へ。そのあとの展開は：「あのスーツ何回着た？ もう着られないんでしょ

う？」ことあるごとに女房に訊かれる日々だった。

今回のダイエットのきっかけはバイクのウェアが着られなくなったこと。数年前、大枚（いくらだったかはとも）女房には聞かせられないのでここには書けない）をはたいて買ったウェアが入らなくなった。またまた痩せることにした。

いつもと同じ、おやつをうんと減らす、ビールやワインやウイスキーも減らす、ご飯も少し減らす、あと少しの運動。昨年7月に比べ22kg減。今回は痩せたところで服を処分したので新しく服を少しずつ買っている。だからリバウンドはまずい。女房に「あなたは着るものの気にしなすぎよ。いい年なんだから少し小奇麗にしなさい」としつつ言うられる。実は僕だっ

れよれのスニーカーは高機能ゴアテックス、ゴロゴロするときに着る長袖シャツはイギリスのアウトドアメーカー、このフリースもフランスのアウトドアメーカーの限定品：まー、彼女にはわからないよな。他の誰にも分らないだろうけど。

ともかく、女房に言われファッション雑誌を探した。本屋でびつくりしたのだが、雑誌コーナーはおじさん向けのダイエツト雑誌、筋トレ雑誌、ファッション雑誌であふれていた。どうやら日本のおじさん達の多くは痩せたくて、マツチヨになりにくて、おしゃれしてカッコよくなりたいらしい。ファッション雑誌の表紙はお決まりのジローラモさんはじめ、阿部寛、浅野忠信、高橋克典：あんまりカッコ良すぎて、どれも僕の路線とは遠い。参考になりそうもないけど：見つけた！ 表紙は竹中直人。とりあえず人生初めてのファッション雑誌を買った。

帰って雑誌を広げていたら晩御飯。あ、今日はカレー！ だ

めだ。カレーは。ほら、またおかわりしてしまった。だからカレーは：またプチリバウンド。「あたしのカレー、おいしいでしょ」女房がにっこり。



なまはげ太鼓(柴灯まつり 男鹿真山神社 2月)



「あけぼの」との思い出

男鹿みなと市民病院（男鹿市）

内科 秋 元 正 年

医療や「酒」と関係のない話題で記す。

11月7日秋田魁新報の第一面には『「あけぼの」来春廃止』の文字。やはり来たかという寂しい思いになった。

この秋田県も、東京で用事を足して日帰りできる時代になったが、僕の小さい頃の上京は大イベントだった。鉄道時刻表の使い方を覚えた僕は、とある駅で停車している「あけぼの」を見た時に「（県北の内陸から）上京するにはこのやり方があるのか」とも思ったものだ。松本零士の「銀河鉄道999」の世界そのままのブルートレインで、「宇宙に行くのか」とも勘違いしていた（冗談である）。

秋田から東京と仙台の間にあった大学まで、速く安全に移動

するには新幹線だった。ただ、「こまち」の完成前後でも、盛岡や仙台での乗り換えを強いられた。トンネルが多く、景色が見えない路線ばかりで、正直おもしろくなかった。

大学を卒業して秋田に移ってからは、旅行で非日常の世界を楽しむ余裕ができた。海外に出る時は飛行機を使うが、羽田や名古屋、大阪で乗り継ぐにも端から端まで歩かされるのは面倒だった。酒が入っているとすっかり別の便に乗ってしまいそうだった。時間と距離だけなら飛行機や新幹線は便利だが、僕にはそれだけだった。国内では、移動している土地を窓越しに見て分かるのが楽しくて、余裕がある限り鉄道を使う癖がついた。

特に寝台車では、移動中に食

べ物や酒を楽しむ、眠る、休む、窓の外を見る、といったことが、好きなタイミングでできる。それで、ゆとりのある旅行の時には、寝台車を使うようになった。ただ、この楽しみは、新幹線が東北各地へ延びたころにようやく分かった。もっと早くから知っていればよかった。

新聞には、車両の老朽化、利用者減少、コストの問題、など廃止になった理由が諸々言われている。でも、九州や西日本では、「ななつ星」や「サンライズ瀬戸」、「サンライズ出雲」と言った、綺麗で乗り心地の良さ

そうな寝台車があり、値段は決して安くはないものの、予約の取れないくらいに人気があると聞く。同じようにやれば良いと思う。旅行も、仕事がらみの移動と、時間に余裕を持った娯楽がらみの移動の違いが分かれば、この東北でも、飛行機、新幹線、夜行列車などの住み分けができるはずである。

この会報が出るころには秋田も厳しい天気が続いていると思

う。それでもこの文章を見た人は、来春の廃止までの間に上京する時は予約を取って寝台列車の味に触れて頂きたい。ブルートレインとしては他にも上野と札幌を結ぶ「北斗星」、青森と札幌を結ぶ「はまなす」があるが、これも2、3年後に残っているかどうか。乗り飽きてしまった方は、知人との話題のネタとして、鉄道関係の仕事をされている人は、鉄道の利用のアイデアの1つとして、この文章を活用して頂きたい。僕のささやかな願いである。



急ぎの旅の象徴・東京駅

ピットフォール⑤

「あらほの患者さんがはまりやすい落とし穴」



質問

めまいのため、かかりつけ医の紹介で総合病院の脳MRI検査を受けました。その結果、陈旧性ラクナ梗塞が数個と軽度の慢性虚血性変化はあるが、治療の必要はないといわれました。認知症になる心配は？

めまいから認知症へ

生活環境の最適化、医学の進歩により元気な高齢者が沢山います。一方で同年代の人が認知症、脳梗塞に罹り悲惨な状態になっているのを目にすることが多くなりました。患者から、恐ろしい、ああはなりたくない、先生頼むよ、と拜まれます。

クレオパトラ、楊貴妃、マリイ・アントワネットらは永遠の若さ、美貌を保ちたいが為に不老不死の薬を手に入れようとしてきました。しかし断末魔の叫びを残して命を閉じました。生物に永遠の命を与えなかったのは神の摂理です。人生、楽しく過ごし、安らかにこの世を去りたいと思うなら、両親、兄弟、子供を大事にし、他人に誠実で、親切であることです。これが苦し

まずに死ぬ方法です。私はこれまでの自分本位の人生を思うと、苦しまないで死ぬるか不安です。これから心を入れ換えたら間に合うでしょうか。

めまいは、回転性めまい、動揺性めまい、失神性めまいがあり、それぞれの原因が耳か脳か貧血などということになっています。今患者が嘔吐して、眼を閉じ体を丸めている、立ってられない等、苦痛の渦中にいる時、このめまいの原因は医師の目の前に存存のです。どこかに新鮮病変は必ずあるはずですが、原因がわからない場合が多々あります。もう治ってしまっためまいの場合は、全て仮定、憶測となります。原因追究の手段を検査に依存し過ぎると、検査結果が異常でない場合は、病気がないことになります。

いつも自分が注意すべきは、認められた診察、検査の異常所見が、患者の訴えと関係あるのか、ないのかを判別することです。めまいを繰り返す場合は、原因追究が必要です。脳MRI

で虚血性病変の部位、範囲はどうであったかで今後めまいを来しうるか、脳梗塞の危険、認知症となる可能性があるかを予測します。このように考えますと、今は何ともなくても、定期的な受診、検査が必要だと思います。つくづく臨床医学は患者それぞれに個別的な学問だと思

「指南役」



加藤診療所（男鹿市）

加藤 一磨 先生



今日の診察室から ②1



たかぎ眼科
クリニック
(男鹿市)

高木 道雄

の混合ワクチンの接種を受けています。11年前に私が男鹿市に來てからは、ずっと家の中だけで飼っているの、人間が外からウィルスを持ち込む可能性はないとも言えないのですが、感染の可能性は低く、あまり意味がないように思われます。それでも飼い主の責任として、健康診断もかねて毎年動物病院に連れて行き、高木ミケコという名前の診察券まであります。

ワクチンとはともかく健診は無駄ではなかったようで、一回寄生虫がみつかり、駆虫剤を処方されたことがあります。猫缶やカリカリだけではかわいそうと妻が与えたカツオのタタキが原因でした。なぜ同じものを食べた人間が大丈夫なのか私にはわかりませんが…。

我が家に16歳になる三毛猫がいます。人間で言えば80歳位のおばあさんです。まだまだ元気ですが、時々角を曲がり切れず滑って躓いたりしながら、家の中を走り回っています。ただ、さすがにすこし頭の中がややしくなってきたており、餌をやっても、食べたことをすぐ忘れ、また餌台の前にいるような状態です。又、ずっと眠っていることも多くなってきました。

生まれて間もない時に家に迷い込んでから、毎年かかす猫ウィルス感染症予防のため

でも、飼い主がわきまえていて、他に迷惑がからないようすぐ外に連れて行きます。大概、猫はケージ、犬は抱っこで入ってくるのですが、その度に皆さんの視線が一斉に入口に向かい「まあーかわいい」と声がかかります。飼い主も、その通り、当然と言わんばかりの誇らしげな顔で入ってきます。一度、小さなおばあさんが、ご自分より大きい、それもおしめをつけた犬を抱えてきた時はどなたからも発言はありませんでしたが。

待合室の隣が診察室兼処置室です。悲鳴（動物は出しませんか）がそこから聞こえることはほとんどなく、肅々と診療が進んでいきます。うちの猫もケージから出す時はさすがに抵抗するのですが、処置台に寝かされると、もちろん押さえるコツもツボもあるのでしょうか、されるがままになっています。診察と処置が終われば自分からケージに入っていきます。

保険がききませんので料金は人間よりもかなり高いと思うのですが、ペットへかけるお金は別とでもいうように淡々と会計が終わっていきます。

世の中はペットブームです。飼い主のペットへの思い入れは特別のものがあろう、実際の親の死は乗り越えられたけれど、亡くなった愛犬のことはいつまでも忘れられないといった話は度々聞きました。もちろん動物病院に來るような犬や猫は恵まれた環境にいて、そうでない犬や猫より長寿なのは間違いないのですが、はたして、人間の都合でそこまで生かされている彼や彼女たちが本当に幸せなのかと思います。

湯沢の家の隣は裏が里山に続いているような広い公園で、娘盛りは公園を駆け回り、もぐらを獲り、トリをいじめていました。彼女には黄金の日々です。11年前に男鹿に移る時、湯沢の獣医さんから、外に出すと他の猫にボコボコにされるので転居

後は家の中で飼うようにと言われ、以来家猫として今に至っています。まだ数年は大丈夫そうですが、湯沢で彼女の前に2匹いた先輩猫はいずれもある時家に戻ってこなくなりました。どうなったかは分らないのですが、今まで人間のもとで生かされてきた彼女が先輩猫たちより果たして幸せと言っていいものか、ニャンとも難しいようです。以上、ある動物病院からでした。

次は同じ船越地区の吉田賢志先生宜しくお願い致します。



ナイト キャッツ。

ジープ

11月の冷たい雨が降りしきる水曜日の午後、締め切りを過ぎた会報の原稿を気にしながらテニストラケットを抱えてジープに乗りこんだ。

子供のころ、おもちゃのジープを持っていた。お祭りの時に夜店で買ってもらったゼンマイで動くやつ。車はどれも好きで（男の子はみんなそうか？）ミニカーもあった。フォード・マスタング、シエルビー・コブラ、ランボルギーニ・カウンタックなんかのスポーツカーも好きだったが、武骨なジープがとてもかっこよく見えた。一度は乗ってみたいと思っていた。

人生最初の車は中古のホンダN360。カセットテープでビリー・ジョエルと白井貴子を聞きながら大学へ通った。研修医になり、開局したばかりのFM秋田から流れるアルフィーを聞きながらジムニーであちこちへ当直に行った。子供たちが生まれ7人家族になり、中古で初めてエアコンのついたワンボックスカーを買った。子供たちも大

きくなり大家族で移動する機会が減ってついにジープを購入。数年前に買った中古は2台目。あこがれのソフトトップ（屋根が幌）。買って最初の日曜日、夏の太陽の下、大瀧詠一をBGMに奥さんを隣に乗せて出かけた。が、ほどなく夕立…雨漏り！「前の人がすぐ手放した理由ね」としみじみ言われた。確かに走行距離が少なかった…。

車屋に相談したがどうにもならず、雨漏りに耐えながら「幌の車なんてこんなもんだ。あえてそういう車で雨の日に走るのがカッコいい。男の美学」とつぶやきながら1人で乗っていた。信号待ちの度にタオルで一生懸命シートをふきながら。

仙台のディーラーで直るらしいとボイスカウト仲間がいう。電話すると、「ケースバイケースですが、直ることもあります」と正直な答え。運転して置いてきた。そして楽天イーグルスの優勝パレードの日、観客をよそにビジネスホテルを出発。車屋までの7km、リュックを背負って歩く。車を受け取り高速道路

へ。前沢サービスエリアでチロルのチーズケーキ（ここのはほんと美味しいんだ）を買って一路秋田へ。そして夜はジープの帰還を祝って一杯。モルトはロングロウ。マツカラン蒸留所で作られているが、華やかなマツカランとは違いピートを焚きこんであり男の酒といわれる。しかも今回は樽出しのカスク、マネージャーズチョイスでアルコイル度数は57・4。右手にはピティーなモルト、窓の外には幌のジープ、隣には美しい妻？うーんおじさんのロマンだな。

さて、恐る恐る乗り込んだジープ：テニスの間だといぶ雨は降っていたがシートは濡れていない！ 家に戻って風呂上がりにも雨漏り完治祝い。今度はローズバンク。ローランドモルト特有の穏やかさに浸りながら思い出す。「ジープ屋の隣はフォードだった。店先にあったグレーのマスターング。カッコよかった。一度乗ってみたいな」〈酔〉

ふんふんコラム column

1 本橋

昔なにかの雑誌で見た漫画が脳裏に焼き付いている。谷間にかかった1本の丸木橋の右から1匹のタヌキ、左から1匹のキツネが歩いてくる。真ん中でどちらも譲らない。やがて、タヌキはキツネに、キツネはタヌキに化けて元来た方向へ。どちらも反対側に渡ることができた。

この伝でいけば、右から宮城の豚が来た、左から岩手の豚が来た、どちらも譲らず、宮城の豚は戻って岩手の豚だと称し、岩手の豚は…これが「誤表示」の真相か。

右から原発推進派、左か

ら反原発派がやって来て睨み合う。その間に化石燃料は炭酸ガスに化け続け、温暖化によるフィリピン型複合災害が相次ぎ、空には互いに譲れぬ防空識別圏が混在、ついにメルトダウン？互いに早く化けて、相討ちを避けたい状況が世界にふんふん転がる謹賀新年。DJポリスはまだか？

〈ふんころがし〉



編集後記

裁判員裁判制度は、先例を重視して妙な判決を下す裁判官に一般人の常識を学んで頂こうと導入された。ところが東京高裁は先ごろ、裁判員らが下した地裁の死刑判決を先例にないと却下。別の裁判でもこの裁判官は同じ理屈を通している。要するにこんな人のためにこの制度が必要なのだろうが、何だか堂々巡りだ▼それに比べたら17歳の白井健三選手は凄い。ロンドン五輪と11月の世界体操で個人総合4連覇の内村航平をして「人間じゃない」と言わしめた後方伸身宙返り4回ひねり「シライ」は、堂々巡りどころかどんどん進化する▼スポーツの秋。秋田日赤、中通病院、男鹿潟上南秋連合3チームによるテニス対抗戦「山田カップ」井川町国花苑にて。日赤9勝2敗、中通8勝5敗、高齢化著しい連合軍4勝14敗…▼その2週間前、五城目の森山（標高325m）から浦



城（121m）を越え八郎潟の高岳山（231m）に至る「湖東3山」を正味2時間で縦走した。運動不足の方にお勧めのトレッキングコース▼酒に弱い外科医は術前に手の消毒で苦勞し、蕎麦屋であのかん高い声「せいろー2まいー」を食う前の2合に憧れていることが分かった。神田藪蕎麦、再開は来年。何度か一緒に秋田山で試飲した浅利先生が福祿寿の2級酒に惚れて湖東に着任とは知らなかった。酒に上下はなく、笹尾先生のように年齢も関係ない▼秋元先生「あけぼの」、同感。速さより移動そのものに価値を見出す時代。

▶山田杯



▲右の森山から真ん中の浦城を通り、左の高岡山の端までひたすら歩いた。

安心安全のJR北海道「ほなし号」で最果ての地をゆったり旅したい。加藤先生の文学的めまい論に感謝▼忘年会の喧噪の中で話した「福建の子」河合先生がまた好漢で、文体も内容も愉快。台湾紹介は圧巻。同大医学部は編集子も訪れたことがある。古い東大病院に似ていた。医師会旅行に如何？▼横手の秋田ふるさと村にて11月、横手フイル定期演奏会。「大いなる秋田」（石井敏作曲）管弦楽版を武蔵野合唱団と地元合唱団が高らかに歌った。秀麗無比なる鳥海山の第3楽章「躍進」が終わると満席の会場から拍手。全4楽章構成の名曲は未だ県民になじみが薄い。帰路、鳥海山は夕暮れの薄靄に包まれていた。もっと演奏を▼相次ぐ異常気象、殊に台風30号はフィリピンに甚大な被害を残した。ところがWHOの影が薄い。事務局長選で日本の尾身茂候補を金の力で下した中国は、ドラえもんのジャイアンではないが、図体でかく、自我肥大、WHOより領土領海にこ

執心▼誰でも医療を受けられるよう国民皆保険に近い制度を目指す米国オバマケア。自立自助精神旺盛な国柄が成立が危うい。その国からキャロライン・ケネディ駐日大使が着任。父ケネディは1963年、編集子小6の11月に暗殺された。前年のキューバ危機で見せた父親の胆力を発揮するか▼やつぱり殿の龍角散と御狩場焼より女性パワー。「一枚の絵を見に秋田へ」。さすが吉永小百合さん。で、その後は？（編集長・佐々木康雄）



▲なまはげになる前の男たち



▲台湾大学本部キャンパス

表紙写真（ジョン君1歳4カ月）
門前五社堂に至る
九百九十九の石段

ひえー こんな石段を造らせておいて：男鹿の人は鬼より人が悪い！

漢の武帝と共に男鹿真山にやってきた鬼たちは、里に下りては悪さをしていた。困った村人らは、「一夜で千の石段を築いたら娘をやる。できなければ二度と来るな」と約束。鬼たちはがんばった。そしてあと1段のとき無情のコケコッコー。だがだまされたと思つた鬼たちはなまはげと化し、その出沒を警戒するために自衛隊が真山・本山に駐屯して今日に至る。

赤神神社は貞観2（860）年に天台宗慈覚大師が創建。鎌倉幕府3代将軍源実朝に願ひ出て五社堂が建立された（1999年から4年がかりで補修。国重要文化財。右から2つ目客人まろうど）権現堂に円空の木像あり。秋田DCの小百合さん効果で千客万来。



五社堂

お便りは 〒018-1401

潟上市昭和久保字町後173-42
ハートインクリニック 佐々木 康 雄